

表 ヒノキ球果における果樹カメムシ類寄生虫数及び口針鞘数

No.	調査地点	ヒノキ球果における寄生状況 ¹⁾						ヒノキ球果 ²⁾ 着果程度	口針鞘数 ³⁾	
		7月下旬			8月上旬				7月下旬	8月上旬
		成虫	幼虫	合計	成虫	幼虫	合計			
1	上 峰 町 堤	0	3	3	－	－	－	やや少	0.0	－
2	神 埼 市 脊 振 町 倉 谷	2	0	2	－	－	－	やや多	0.5	－
3	小 城 市 三 日 月 町 織 島	0	0	0	1	0	1	やや多	0.3	0.0
4	唐 津 市 太 良	3	2	5	2	0	2	多	0.2	0.2
5	唐 津 市 浜 玉 町 平 原	0	0	0	0	0	0	多	0.0	0.0
6	唐 津 市 北 波 多 成 淵	0	0	0	0	0	0	やや多	0.1	0.3
7	伊 万 里 市 大 川 町 大 川 野	0	0	0	2	2	4	やや多	0.6	2.0
8	伊 万 里 市 南 波 多 町 原 屋 敷	0	1	1	2	0	2	中	0.3	0.2
9	伊 万 里 市 南 波 多 町 笠 椎	0	0	0	－	－	－	中	0.0	－
10	多 久 市 南 多 久 町	3	0	3	3	1	4	中	0.9	2.7
11	鹿 島 市 古 枝	13	1	14	2	8	10	多	1.7	5.8
12	鹿 島 市 嘉 瀬 の 浦	2	8	10	3	4	7	多	0.5	7.9
13	太 良 町 江 岡	1	0	1	3	0	3	中	0.4	0.6
14	太 良 町 大 浦	0	0	0	3	0	3	多	0.4	5.3
	平 均	1.7	1.1	2.8	1.9	1.4	3.3	やや多	0.4	2.3
	平 年	－	－	11.9	－	－	19.7	少	1.9	8.5
	前 年 (R6年)	－	－	18.5	－	－	42.7		1.4	12.4

1)たたき落としによる調査

2)ヒノキ球果着果程度：福岡農総試の達観調査法に基づいて調査

- ・極少：一部の木では上部にも球果が見られるが、多くの木では上部にも球果がない。
- ・少：球果が全くない木も見られるが、多くの木の上部には球果がある
- ・やや少：球果が全くない木も見られるが、多くの木の上部には球果があり、一部の木では中央部にもみられる
- ・中：中央部まで球果が見られる木が多い
- ・やや多：多くの木では中央部までたくさんの球果が見られ、一部は下部にも球果がある
- ・多：下部まで球果が見られる木が多い
- ・極多：ほとんどの木で下部までたくさんの球果が見られる

3)口針鞘数が1果当たり25本を超えるとヒノキ球果が餌として不適となりカメムシがヒノキ球果より離脱する傾向がある

※ヒノキ球果における寄生虫数、口針鞘数は地形等により差が大きいため、各調査地点の結果が必ずしも当該地域全体の状況を示すものではない。